

1 単元名 読んで心に残った大好きを「ブックハウス」で紹介しよう  
「ずうっと、ずっと、大すきだよ」

## 2 単元の目標

- お気に入りの本の大好きなところを見付け、その理由を明確にし、ブックハウスで紹介しようとしたり、進んで本を読もうとしたりする。(国語への関心・意欲・態度)
- 物語を読み、心に残った大好きなところを書き抜き、自分の経験や自分と比べて感じたことを結び付けて紹介することができる。(読むこと)
- 言葉には、気持ちを表す語など意味による語句のまとまりがあることに気付き、文章を読んだり使ったりできる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

## 3 単元について

## (1) 児童観 児童数\*\*人

児童は、これまでに場面の様子や登場人物について想像を広げながら読んできた。「おおきなかぶ」の学習では、言葉や動き、挿絵から人物の気持ちを想像し、想像したことを基に台詞や動作を加えて音読劇を行い、音読劇を通して、自分の役になりきり、楽しみながら物語を読むことができた。また、「ゆうだち」や「くじらぐも」の学習では、想像を広げながら読み、お話の一番好きなところを選び音読する活動やブックハウスで紹介する活動を行ってきた。しかし、お話の一番好きなところを選ぶ時に感覚で選んでしまうことも多く、好きな理由を聞いても「分からない」と答える児童もいることから、心に残った言葉や文を見付けその理由を考えたり、文章の内容と自分の経験とを結び付けて自分の思いや考えをまとめたりする学習経験はまだ十分とはいえない。

＜「お話を読んで友だちにしようかいしよう」というテストの結果から＞

	設問内容	正答者数
1	登場人物を読む力	*人
2	文脈に即して内容を捉える力	*人
3	話を読んで、好きなところや気に入ったところを紹介する	*人

以上の結果から、文章を読んで登場人物は把握できているが、内容を捉えることができていない。そのため、好きなところや気に入ったところが紹介できないと考えられる。これらの実態を踏まえ、本単元では、何度も本を読み返しながら自分が心に残った大好きを紹介するための根拠となる言葉や文を書き抜き、文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめる力を育てる必要があると考える。

## (2) 言語活動とその特徴

本単元では、言語活動として「読んで心に残った大好きを『ブックハウス』で紹介しよう」ということを位置付けた。お気に入りの本の大好きを紹介するために、「ブックハウス」を作る。「ブックハウス」には、本の題名、作者、訳者、登場人物、大好きなところ(叙述)、大好きな理由、大好きなところに合った絵を書く。大好きなところを紹介するためには、どんなところがどのように好きなのかを明確にし、相手に伝えることが必要である。そこで、大好きを紹介する根拠となる叙述を書き抜いたり、大好きなわけを自分の経験と結び付けて、自分と登場人物を比べて感じたことを書いたりできるようにする。また、並行読書として、教材文と同じような登場人物が動物に対して大好きな様子や愛情が感じられる本を用意する。その中から、お気に入りの本を見付け、何度も本を読み返しながら大好きなわけを明確にして「ブックハウス」を作って紹介する。読んで心に残った大好きを「ブックハウス」で紹介する活動を行えば、本単元でねらう、第1学年及び第2学年「C読むこと」の指導事項「エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」「オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」が実現できると考える。

## (3) 教材観

本教材は、人間にとって身近な動物である犬と少年との心の交流が描かれている。少年「ぼく」は、愛犬エルフをその死に至るまで親友として愛し、慈しみ続ける。児童は、主人公「ぼく」の心の優しさにひかれ、柔らかなタッチの美しい挿絵を手がかりに興味をもって読み進めていくことができる。主人公の「ぼく」とエルフの成長を照らし合わせながら描かれているため、場面の様子がはっきりしていて話の展開がつかみやすい。また、「ぼく」の視点から書かれていることや身近な題材であることから自分の経験と結び付けて思いや考えをもつことができると思われる。これらのことから、心に残った大好きなところ

を書き抜き、自分の経験や自分と比べて感じたことを結び付けて紹介するのに適した教材といえる。

(4) 指導観

本単元では、物語を読んで心に残った大好きを紹介するための根拠となる言葉や文を書き抜き、文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめる力を育てていきたい。そこで、「読んで心に残った大好きを『ブックハウス』で紹介する」ことを言語活動として位置付けた。今回は、教科書教材「ずうっと、ずっと、大すきだよ」とお気に入りの本を並行して用い、教科書教材で学んだことが自分の本の読みに生かすことができるよう入れ子構造で展開していく。第一次では、「くじらぐも」で作った『ブックハウス』を読み返し、読んで心に残った大好きを紹介するという目的意識をもたせ、見直しをもって学習を進められるようにする。第二次では、教科書教材を読むとともに自分のお気に入りの本を読み進めていく。各時間の前半は、教科書教材を使い「ぼく」と「エルフ」の様子を捉え、「ぼく」の「エルフ」に対する愛情が分かるところを見付け、好きなどころの理由を明確にしていく。後半は、教科書教材で学んだことを生かして、自分のお気に入りの本で登場人物と動物との温かい関わりが描かれたところに着目しながら、好きなどころに付箋を貼りながら読んでいく。付箋には、その言葉や文から思ったことや考えたことを書いておく。その際に、感想を表す言葉の一覧を児童一人一人の手元に置いておき自分の思いが表現できるようにする。そして、付箋を付けた中から自分が心に残った大好きなどころを決め、大好きな理由を自分の経験と結び付けたり、自分と登場人物を比べて書いたりして「ブックハウス」にまとめる。第三次では、完成した「ブックハウス」を使って自分のお気に入りの本の心に残った大好きを紹介し、感想を伝え合う。友達と交流する時は、相手の感想のよさを見付けられるようにしたい。そして、友達の読みや感じ方を知ることによって自分の読みを広げていけるようにしたい。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>お気に入りの本の大好きなどころを見付け、その理由を明確にし、ブックハウスで紹介しようとしたり、進んで本をを読もうとしたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語を読み、心に残った大好きなどころを書き抜き、自分の経験や自分と比べて感じたことを結び付けて紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、気持ちを表す語など意味による語句のまとまりがあることに気付き、文章を読んだり使ったりしている。</li> </ul>

5 単元の指導計画（9時間扱い）

	主な学習活動	主な評価
第一次 ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学習の見直しをもつ。</li> <li>1 「くじらぐも」で作った「ブックハウス」を読み返し、お気に入りの本の「ブックハウス」を作り紹介し合うというめあてをもつ。</li> <li>○ 「ずうっと、ずっと、大すきだよ」の読み聞かせを聞く。</li> <li>○ お気に入りの本を決定する。</li> <li>○ 物語の題名、作者、訳者を知り、ブックハウスに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お気に入りの本の心に残った大好きをブックハウスで紹介し合うということに関心を持ち、見直しをもって進んで本を読もうとしている。（国語への関心・意欲・態度）</li> </ul>
第二次 ⑦ 本時は第6	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 教材文やお気に入りの本を読み、好きなどころを見付け、書き抜き、好きな理由を自分の経験や自分と比べて考えたことを基にまとめ、ブックハウスを作る。</li> <li>1 「ぼく」と「エルフ」の様子を挿絵と文から読み大体のあらすじをつかむ。</li> <li>○ 登場人物を確認して、ブックハウスに書く。</li> </ul>	

登場人物の動物への愛情が描かれた物語の並行読書

- 「ぼく」と「エルフ」の関わりに着目し、物語の大体の内容を

時	<p>確認し、ブックハウスに書く。</p> <p>2・3・4 「ぼく」が「エルフ」のことが大好きだったことを捉える。</p> <p>○ 心に残ったところとその理由（思ったこと・感じたことや自分との比較）を考える。</p> <p>5 心に残った大好きなところを書き抜く。</p> <p>6 大好きな理由を自分の経験や自分と比べて感じたことと結び付けて書く。</p> <p>7 ブックハウスを完成させる。</p>	<p>確認し、ブックハウスに書く。</p> <p>○ 登場人物がその動物のことを好きだと分かるところ（好きなところ）を見付け、付箋を貼る。</p> <p>○ お気に入りの本の心に残った大好きなところを書き抜く。</p> <p>○ お気に入りの本の大好きな理由を自分の経験や自分と比べて感じたことを結び付けて書く。</p> <p>○ 書き抜いたところに合った挿絵を描き、ブックハウスを完成させる。</p>	<p>つかんでいる。</p> <p>(読む能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の行動や会話に着目して、「ぼく」が「エルフ」を大好きな気持ちや様子を想像を広げてながら読んでいる。(読む能力)</li> <li>自分の気持ちにふさわしい言葉を選び心に残ったわけを書き表している。(言語についての知識・理解・技能)</li> <li>物語の大好きなところを選び、付箋を貼っている。(読む能力)</li> <li>物語の大好きなところを書き抜いている。(読む能力)</li> </ul> <p>・ 大好きなところの理由を自分の経験や自分と比べて感じたことと結び付けて紹介している。(読む能力)</p> <p>・ 自分の気持ちにふさわしい言葉を選び、大好きな理由を自分と比べる言葉を用いて書き表している。(言語についての知識・理解・技能)</p> <p>・ 友達の感想のよさを見付けながらブックハウスを読もうとしている。(国語への関心・意欲・態度)</p>
第三次	<p>◆ お気に入りの本の心に残った大好きを「ブックハウス」を読み合って紹介する。</p> <p>○ 自分のお気に入りの本の心に残った大好きを紹介し、感想を伝え合う。</p>		

登場人物の動物への愛情が描かれた物語の並行読書

## 6 本時の学習

### (1) 目標

物語を読んで、大好きな理由を自分の経験や自分と比べて感じたことを結び付けて紹介することができる。(読むこと)

### (2) 準備・資料

- ①学習計画表 ②感想の言葉の一覧表 ③ブックハウス（「ずっと、ずっと、大きだよ」用）  
 ④ブックハウス（お気に入りの本用） ⑤ブックハウスの大好きなわけの部分の拡大図  
 ⑥自分と比べる書き方の例 ⑦自分のお気に入りの本 ⑧振り返りカード  
 ⑨実物投影機 ⑩プロジェクター ⑪ホワイトボード

### (3) 展開

過程	学習活動・内容	指導上の留意点・評価 (◎は評価、◇はESDに関すること)	資料
つかむ	1 本時の学習課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習計画に沿って学習課題の確認を行い、本単元における本時の位置付けをつかめるようにする。</li> <li>教材文の書き抜いたところの大好きな理由は、本時まで書いておくようにする。</li> <li>教材文で書き抜いたところの大好きな理由を読み直し、本時のお気に入りの本の活動につなげられるように全体で書き方や表現方法を確認する。</li> <li>自分の経験や自分と比べて感じたことを基に大好きなわけを紹介するための書き</li> </ul>	①
	<p>2 「ずっと、ずっと、大きだよ」の書き抜いたところの大好きな理由をクラスで確認する。</p> <p>○ 自分の経験や自分と比べて感じたことを基に大好きな理由を紹介するための表現方法を確認する。</p> <p>【自分の経験や自分と比べて感じたことを基に大好きな理由を紹介するための</p>		③ ⑤ ⑨ ⑩ ⑪ ⑥

	<p>書き方】  (1)大好きなりゆうの書き方  ・～から大好きです。  (2)自分と比べる書き方  ○同じ時  ・わたしも、ぼくも…と思います。  ○違う時  ・わたしは、ぼくは…と思います。  ・わたしだったら、ぼくだったら…と思います。</p>	<p>方を確認することで、自分のお気に入りの本でも同様に全員がやることを理解した上で活動できるようにする。  ・初めに、書き抜いた文が同じで感想が異なる児童を紹介する。次に、「ぼく」の行動と自分の経験とを比べてよく書けている児童を紹介する。</p>	
考える	<p>3 お気に入りの本について大好きな理由を書いてまとめる。</p>	<p>・教材文で書いた大好きな理由を参考にして取り組めるようにする。  ・戸惑っている児童や自分の理由がうまく書けない児童には、「～から大好きです。」と書けるように助言する。  ・自分の経験や自分と比べて書くことがうまくできない児童には、書き込みができる例示カードを渡して声を掛けながら穴埋めできるようにする。  ・お気に入りの本について大好きな理由を書いてまとめることができた児童には、自分が書いたことを読み直し、友達に紹介する練習をすることを伝える。</p>	⑦ ④ ② ⑥
深める	<p>4 心に残った大好きなところとその理由をペアで紹介し合う。  【感想の伝え方】  ○…さんの心に残ったわけを聞いて～と思いました。  ○わたしも、ぼくも同じで～と思います。  わたしは、ぼくは少し違って～と思います。</p>	<p>・交流の仕方と感想の伝え方を確かめてからペアで紹介し合うようにする。  ・ブックハウスを見せながら紹介すると分かりやすいことを確認する。  ・ペアで紹介し合うことで、お互いの紹介をじっくり聞き合えるようにする。  ◇友達に感想を伝える時、思いや考えを明確に表現できるように感想の言葉の一覧表を使ってもいいようにする。  ◇ペアでの交流で互いの紹介を集中して聞き、話題に沿って感想が伝えられるよう参考となる話型を用意しておく。  (評) 物語を読んで、自分の経験や自分と比べて感じたことを基に大好きな理由を紹介している。  (ブックハウスの大好きなわけを書く欄、発言)</p>	② ④
まとめる	<p>5 本時の学習についてまとめる。</p>	<p>・大好きな理由をまとめることができた児童のブックハウスを提示し、発表させる。  ・大好きなところと理由を紹介する時に大切なことを確認する。</p>	⑨ ⑩ ⑪
	<p>6 本時の学習を振り返る。</p>	<p>・めあてを意識させて、分かったことやできるようになったことについて学習計画表の振り返りの欄に書くことで、本時で付いた力の振り返りができるようにする。  ・大好きな理由を自分の経験や自分と比べて感じたことと結び付けて書けていたことや友達を紹介を聞いて自分の理由と比べて感想が言えていたことを賞賛する。</p>	⑧